

しを悔いてにや、程なくも其營舎の内にて、腦骨を碎きて少女の跡を逐ひたりとか

フレーベル會俳句端書集

一、課題 牡丹、螢、夏の月、田植、夕立、

(凡て一人十句以下)

一、〆切 六月廿五日限り

一、披露 八月發行本誌文苑欄

一、賞品 天地人三座には美景を呈す

一、撰者 當分本會の撰とす、

一、投稿 本誌購讀者は何人にも投吟すること

を得用紙は端書に限り『可成繪端書に記載せ

られたし』住所氏名雅號を明記し都合上必ら

ず左の名宛にて送らるべし

埼玉縣入間郡芳野村

フレーベル會俳句掛

鹽野奇零

●雜吟十句(結幼稚園)

無一庵奇零

朝風の青葉若葉や幼稚園  
春風に赤きリボンや幼稚園  
オルガンのもれてのどかや幼稚園  
休み日や蝶舞ふ畫の幼稚園  
菫つむ裏の小土手や幼稚園  
花折て叱らるゝ子や幼稚園  
葉櫻に冷たき朝や幼稚園  
青梅に石投げける子や幼稚園  
雨の日や若葉にくらき幼稚園  
鞦韆の日暮閑なり幼稚園

